

「きょうだい」さんの
気持ちって…?

お仕事で出会う「きょうだい」が
気になる…

「きょうだい」の支援を
したいけどどうすれば?

病気や障がいのある



子どもの「きょうだい」の

支援をひろげてつながるための、

シブリングサポーター 研修ワークショップ

in 札幌

2024年

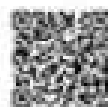
9 / 29

申込〆切: 9月15日

時間: 【第1部】 13:00~15:30

【第2部】 15:30~17:00

小学生以下
無料託児
ありです



会場: 札幌市立大学 体育館 / 第1部のみオンライン有

〒060-0011 北海道札幌市中央区北11条西13丁目

主催 北海道小児膠原病の会 協力 札幌市立大学/NPO法人あえりあ/
NPO法人しおたね

シブリングサポーター研修ワークショップとは

シブリング(SIBLING)とは、「きょうだい」という意味の英単語。

病気や障がいのある子どもの「きょうだい」たちは、不安や寂しさ、罪悪感、プレッシャー、悲しみ、怒り...
いろんな気持ちを感じながら大きくなります。第1部では、「きょうだい」たちの持ちうる悩みや思い、
安心を増やす工夫について、演義とグループワークを通してみんなで学びます。

第2部は、大人どうしてあそびのプログラムを体験する実践編です(第1部修了者限定)。

テキスト、
修了証ピンバッジ、
ステッカーつき。

修了された方は

シブリングサポーター
として認定されます。



参加費: 【第1部】 2,000円

【第1部 第2部】 3,000円

※ 北海道小児膠原病の会さんのご厚意で学生2人は500円です

定員: 【第1部】 会場/オンライン各30名

【第2部】 30名

右のQRコードを読み込むか、
こちらからお申し込みください

<https://sibtane.com/event/ssw24sap/>



きょうだいさんがもちやすい気持ちの例



だれも私を
見てくれない…

寂しさ・孤立感



なにが起こってるの？
コワイ！

不安・恐怖



ぼくがもっと
がんばらなきゃ

プレッシャー



私はいない子…？

自己肯定感の低下

「弟ばかり、ずるい!」「ぼくのせい…?」

子どもに重い病気や障がいがある時、周りの大人の目はその子に集中しがちです。その一方で、病気や障がいのある子どもの「きょうだい」たちは、いろんな気持ちをひとりで抱えることで、自身の存在価値を見失ったり、大人になっても消えない傷になったりすることがあります。

「きょうだい」さんの安心を増やすために

「自分の居場所がある」「自分を見てくれる人がいる」「歓迎されている」と感じられる経験の積み重ねは、やがて安心の土台をつくり、人生を歩んでいくたすけになっていると、「きょうだい」さんたちが教えてくれています。この研修は、そんな安心を届けるにはどうすればよいかをみんなで考えます。



これまで**32都道府県**で開催、**2341名**が修了*しています

テキストに書かれている言葉の一つ一つがとても大切で重要なことばかりで、大きな価値を感じます。
(特別支援学校教員)

楽しく学びました!体験するだけでなく、注意点を心がけていることをしっかり聞いてよかったです。(中学生)

医療者としての立場から、どんなきょうだい支援ができるか考える機会になりました。(看護師)



お問い合わせ：NPO法人 しぶたね

メール

sibtanev@yahoo.co.jp

<https://sibtane.com>

